

平成23年8月

## 鹿児島港（新港区）改修工事に伴う船舶航行安全対策調査専門委員会

### 1 委員会報告書概要

本委員会では、鹿児島港（新港区）の改修工事に伴う航行船舶並びに工事作業船の航行安全対策について調査・検討した。

今回の検討対象工事は、新港区改修工事のうち、泊地浚渫、3号岸壁（-6m）及び5号岸壁（-9m）の拡張等の工事であるが、工事作業が行われる新港区は狭隘なため、フェリー等の入出港船操船水域や係留船の投錨水域と工事作業海域が競合することから、入出港船舶及び工事作業船の安全を確保するため、提示された施工計画および同港の利用実態等を調査のうえ、入出港船舶の操船水域と各工事作業において占有する水域の競合関係等を整理して取り上げるべき課題を抽出し、安全性の検討を行った。

課題の検討に当たっては、今回の工事作業が同港利用船舶の通常の運航を維持しながら行われる計画であることから、入出港船舶の操船水域等を確保することを前提として、航路内における行き合い調整が必要となる船舶及び工事作業船の一時退避が必要となる船舶、土運船の運行経路と管理、警戒管理等について詳細に検討した。

これらの安全対策の実効を期するためには、入出港船舶の動静把握が必要不可欠となることから、関連情報の入手・提供が円滑かつ的確に行われる体制の整備についても提案した。

### 2 調査等概要

- (1) 調査概要
- (2) 航行環境
- (3) 代替係留施設利用計画
- (4) 代替係留施設の検討
- (5) 第1ステージ施工計画
- (6) 第1ステージにおける安全性の検討
- (7) 第1ステージ施工中の航行安全対策
- (8) 第2ステージ施工計画
- (9) 第2ステージにおける安全性の検討
- (10) 第2ステージ施工中の航行安全対策